

# 冬過ぎて

# 春の来れば

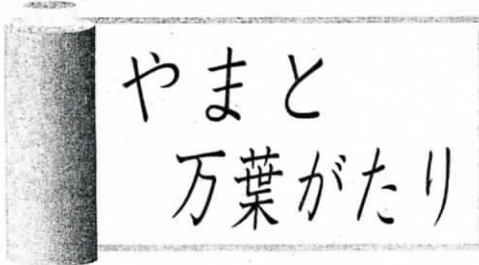
# 年月は

# 新なれども

# 人は旧りゆく

作者未詳(巻十・一八八四)

令和も四年となりま  
した。今年最初の歌は、  
季節の歌を集めた巻  
十、春の雑歌(ちか)からの一  
首です。今も年賀状に  
「迎春」の文字を見か  
けるように、旧暦では  
1月から3月を春とし  
ていました。  
さて、今回の歌はた  
しかに新春、新年の歌  
なのですが、あまりお  
めでたい感じがしませ  
ん。これは「旧りにし  
を嘆ける」と題された  
歌2首の1首目です。  
漢字の原文では「寒  
過 暖来者」と書か  
れており、冬を「寒」、  
春を「暖」と工夫し  
て表記しています。万  
葉集の中で2回しか出  
てこない書き方です。  
寒い冬が過ぎ、暖かい  
春になると、年は改ま  
り新しくなるけれど、



人間はひとつ年を取っ  
て古びてしまう、とい  
う歌です。昔は満年齢  
ではなく数えだったの  
で、年が明けることと  
年を取ることが結びつ  
いていたのでしょう。  
ただ、続く2首目に  
は「物皆は 新しき  
良し たたくも 人  
は旧りにし 宜しかる  
べし(巻十・一八八  
五)」とあります。物

はすべて新しいのがよ  
い。ただしかし、人間  
だけは老人こそがよい  
にちがいない、という  
歌です。人は年ごとに  
経験が蓄積されるから  
ですね。  
「新し」はついで「あ  
たらし」と読みたくな  
りますが、奈良時代以  
前のことでは「あら  
たし」でした。平安時  
代初期から「あたらし」  
になります。  
「新」と「旧」を対  
比させた2首一組の作  
ですが、この2首の関  
係について諸説ありま  
す。①1人が嘆きの歌  
を詠み、別の人が慰め  
る。②1人が嘆きの歌  
を詠み、別の人が慰め  
る。③1人が嘆きの歌  
を詠み、別の人が慰め  
る。④1人が嘆きの歌  
を詠み、別の人が慰め  
る。⑤1人が嘆きの歌  
を詠み、別の人が慰め  
る。⑥1人が嘆きの歌  
を詠み、別の人が慰め  
る。⑦1人が嘆きの歌  
を詠み、別の人が慰め  
る。⑧1人が嘆きの歌  
を詠み、別の人が慰め  
る。⑨1人が嘆きの歌  
を詠み、別の人が慰め  
る。⑩1人が嘆きの歌  
を詠み、別の人が慰め  
る。⑪1人が嘆きの歌  
を詠み、別の人が慰め  
る。⑫1人が嘆きの歌  
を詠み、別の人が慰め  
る。⑬1人が嘆きの歌  
を詠み、別の人が慰め  
る。⑭1人が嘆きの歌  
を詠み、別の人が慰め  
る。⑮1人が嘆きの歌  
を詠み、別の人が慰め  
る。⑯1人が嘆きの歌  
を詠み、別の人が慰め  
る。⑰1人が嘆きの歌  
を詠み、別の人が慰め  
る。⑱1人が嘆きの歌  
を詠み、別の人が慰め  
る。⑲1人が嘆きの歌  
を詠み、別の人が慰め  
る。⑳1人が嘆きの歌  
を詠み、別の人が慰め  
る。㉑1人が嘆きの歌  
を詠み、別の人が慰め  
る。㉒1人が嘆きの歌  
を詠み、別の人が慰め  
る。㉓1人が嘆きの歌  
を詠み、別の人が慰め  
る。㉔1人が嘆きの歌  
を詠み、別の人が慰め  
る。㉕1人が嘆きの歌  
を詠み、別の人が慰め  
る。㉖1人が嘆きの歌  
を詠み、別の人が慰め  
る。㉗1人が嘆きの歌  
を詠み、別の人が慰め  
る。㉘1人が嘆きの歌  
を詠み、別の人が慰め  
る。㉙1人が嘆きの歌  
を詠み、別の人が慰め  
る。㉚1人が嘆きの歌  
を詠み、別の人が慰め  
る。㉛1人が嘆きの歌  
を詠み、別の人が慰め  
る。㉜1人が嘆きの歌  
を詠み、別の人が慰め  
る。㉝1人が嘆きの歌  
を詠み、別の人が慰め  
る。㉞1人が嘆きの歌  
を詠み、別の人が慰め  
る。㉟1人が嘆きの歌  
を詠み、別の人が慰め  
る。㊱1人が嘆きの歌  
を詠み、別の人が慰め  
る。㊲1人が嘆きの歌  
を詠み、別の人が慰め  
る。㊳1人が嘆きの歌  
を詠み、別の人が慰め  
る。㊴1人が嘆きの歌  
を詠み、別の人が慰め  
る。㊵1人が嘆きの歌  
を詠み、別の人が慰め  
る。㊶1人が嘆きの歌  
を詠み、別の人が慰め  
る。㊷1人が嘆きの歌  
を詠み、別の人が慰め  
る。㊸1人が嘆きの歌  
を詠み、別の人が慰め  
る。㊹1人が嘆きの歌  
を詠み、別の人が慰め  
る。㊺1人が嘆きの歌  
を詠み、別の人が慰め  
る。㊻1人が嘆きの歌  
を詠み、別の人が慰め  
る。㊼1人が嘆きの歌  
を詠み、別の人が慰め  
る。㊽1人が嘆きの歌  
を詠み、別の人が慰め  
る。㊾1人が嘆きの歌  
を詠み、別の人が慰め  
る。㊿1人が嘆きの歌  
を詠み、別の人が慰め  
る。

【訳】冬が過ぎて春が来ると、年月は新しく  
なるけれども、人間は古くなつていくよ。  
の歌を唱和した②若者  
のからかい歌に老人が  
言い返した③1人で嘆  
きと慰めの歌を連作し  
た。など。巻十には  
背景が書かれていない  
ので、いろいろなパタ  
ーンで読んでみるのも  
面白いと思います。  
個人的には、率直に  
詠んだ1首目と、ポジ  
ティブに捉え直した2  
首目の連作として読む  
のが、しみじみと落ち  
着きます。  
(県立万葉文化館主任  
研究員・阪口由佳)